

情報活用能力育成のための指導事例【中学校 第1学年 総合的な学習の時間】

単元・題材名	郷土調べ学習	指導時間（本時）	12/16
本時の目標	教科・科目	<ul style="list-style-type: none"> 図書館やインターネットで情報収集した内容を、選んで整理し、まとめることができる。 コンピュータと電子黒板を使った発表で、分かりやすく伝えるために、プレゼンテーションソフトを活用し、表現を工夫してまとめることができる。 	
	情報教育（3観点8要素）	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータなどを使って、プレゼンテーションの資料を作る。(モA42-3-010) ■必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造 発表する内容を吟味しながら、聞き手に伝わりやすいスライドを作成する。(モA42-3-030) 情報を整理して、聞き手に伝えたいことを文章にまとめる。(モA42-4-010) <p>[態度] ■情報モラルの必要性や情報に対する責任</p> <ul style="list-style-type: none"> 著作権は法律で保護されていることを知る。(モC31c3) 	
活用する主なICT機器等	■コンピュータ ■電子黒板 ■インターネット ■ソフトウェア（プレゼンテーション）		
本時の概要	郷土の歴史や文化等について図書館やインターネットを活用し、情報収集した内容が分かりやすい発表になるようにプレゼンテーションソフトでまとめさせる。また、引用や出典、著作権についても留意させる。		
本時の流れ	主な学習活動		ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用)
	導入	1 前時までに収集した内容を整理する。 2 学習目標を確認する。	◎ 個人用フォルダ内を整理させる。 ※ 収集した情報の内容が分かるように、名前と通し番号を付けさせる。 ・ 本格的にプレゼンテーションソフトにまとめることを意識させる。(前時に作成を始めた班もある。) ・ 班ごとに作成・発表させるため、一人が2～3枚を担当するように指示する。
	展開	3 班ごとにスライドを作成する。	・ スライド構成を考えさせ、その担当も決める。 ◎ プレゼンテーションソフトを活用させ、受け手に分かりやすい発表になるように意識させ、作成させる。 ※ アニメーションは控え目にさせる。 ※ 適宜、インターネットで情報収集させる。 ※ 引用や出典、著作権についても留意させる。
	終末	4 班内でスライドを見せ合い、相互評価をする。	・ 自分たちの班の作品の改善点を見付けさせ、次時の活動への意欲をもたせる。
使用した教材・資料（コンテンツ）	○名称・出典・内容など		
ICT活用の指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 資料を作成させる活動を通して、コンピュータを活用し、写真や図などを取り入れた分かりやすい資料づくりにより、多様な表現の工夫ができる能力を身に付けさせる。 インターネットで情報収集させ、集めた情報の真偽や適否を見極めながら目的に応じて整理・分類させるとともに、新聞や雑誌、図書などから得た情報と比較し、それぞれの特徴を理解する能力を身に付けさせる。 		
備考	○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど ・ 作品の二次利用について、著作権等に留意させている。		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の実践力」→[実践]、「情報の科学的な理解」→[理解]、「情報社会に参画する態度」→[態度]

「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号